

# あたらしくはいった本 (平成31年4月 貸出開始資料から)

●小説 平安ガールフレンズ(酒井順子/著) 刑事の慟哭(下村敦史/著) 初恋さがし(真梨幸子/著) ひよこ太陽(田中慎弥/著) 鬼を待つ(あさのあつこ/著) アンサーゲーム(五十嵐貴久/著) 暁天の星(葉室麟/著) 育休刑事(似鳥鶏/著) アタラクシア(金原ひとみ/著) 動乱の刑事(堂場瞬一/著) 目撃(西村健/著) 旅は道づれきりきり舞い(諸田玲子/著) ぼくを忘れないで(ネイサン・ファイラー/著)

●随筆・詩などの文学 女はいつも四十雀(林真理子/著) 不知火のほとりで(米本浩二/著) サラリーマン川柳くらし傑作選(やくみつる/選 やすみりえ/選) みらいめがね(荻上チキ/著)

●その他の本 小説という毒を浴びる(桜庭一樹/著) 日本萱葺き紀行(安藤邦廣/著) 凶解山の幸・海の幸薬効・薬膳事典(池上文雄/著) かみやすい飲み込みやすい高齢者のやわらか食132(江頭文江/著) 精神科医の話の聴き方10のセオリー(小山的彦/著) ちよこつとずばら老後の楽ちん片付け術(保坂隆/著)



『アタラクシア』  
金原ひとみ/著  
集英社



『女はいつも四十雀』  
林真理子/著  
光文社



『小説という毒を浴びる』  
桜庭一樹書評集  
桜庭一樹/著  
集英社

## みんなの としょかん



市民図書館

TEL (921) 4646

FAX (921) 4896

<http://www.library.dazaifu.fukuoka.jp/>

## としょかんカレンダー

| 令和元年 | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|------|----|----|----|----|----|----|----|
| 8    |    |    |    |    |    | 1  | 2  |
|      | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 |
|      | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|      | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
|      | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

○のついた日は休館日

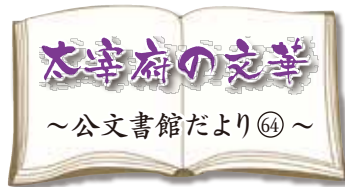
金・土曜日(祝日を除く)は午後7時まで開館しています。

## 白村江戦と筑紫

白村江戦とは、663年8月、倭(日本)の水軍が唐の水軍と白村江(中国・朝鮮半島の記録では「白江」)で会戦し、大敗を喫した戦いをいいます。少しでも古代大宰府の歴史に関心を持っておられる人なら、一度は耳にしたことのある戦いでしょう。ふつうは、「白村江の戦い」と呼ばれていますが、森公章さんは、この戦いが日本の歴史書・日本書紀だけではなく、中国の旧唐書・新唐書、さらに朝鮮半島の歴史を記した三国史記にもみえるように、東アジア世界を巻き込んだ戦いであったことをふまえて、「国際研究の立場から「白村江戦」という呼び方を提唱されており、ここではそれにしています。

これより先の660年、新羅の要請をうけて行われた唐軍の攻撃により、百済の王都泗沘城が陥落、百済王をはじめとする王族、貴族たちが唐へと連行されます。倭王権は、百済にいた遺臣たちの願いをうけて、百済復興にのりだします。これがいわゆる百済救援戦争と呼ばれるもので、白村江戦はその最終段階に位置づけられるのです。

この敗戦は、倭王権にどのような影響を与えたのでしょうか。ここでは、筑紫に注目して考えてみましょう。



う。日本書紀によれば、敗戦翌年の天智天皇3(664)年、対馬島・吉岐島・筑紫国などに防人・烽が置かれ、また水城が築造されたことが記されています。さらにその翌年には大野城・基肆城が築城されており、おそらく後の令制大宰府がもっていたとされる軍事的な役割がこの時に与えられた可能性が大きいと思われる。この時期の筑紫には筑紫大宰と筑紫総領という二つが併存していた。筑紫大宰はすでに推古朝から日本書紀にみえますが、これは書紀編者の創作で、白村江敗戦後、先の軍事的な役割を担う官職として新たに設置された、とする説があります。しかし、わたくしはそうは考えません。後の令制大宰府は、筑紫大宰や筑紫総領のもっていた、それぞれの役割をふまえながら段階的に整えられていったとみるべきだと考えるからです。たしかに、軍事的な役割を担ったのは筑紫大宰でしたが、これは白村江敗戦という事態に即応するための緊急的な措置であったとみられ、したがって天智朝にこの役割が与えられたことを、いったん相対化してみる視点が必要だと思えます。

太宰府市公文書館 重松 敏彦